

輸送品質向上に向けた取り組み

荷崩れ防止システムの研究開発

荷崩れの原因

固定が難しい荷姿

不安定な養生

積み込みの状態

悪路や悪天候

など…

荷崩れに伴うリスク



- ・商品の破損
- ・労働災害
- ・配送遅延
- ・危険物輸送での二次災害 など

荷室情報の見える化による 「輸送品質の確保」

コンテナ内部に設置した機器のカメラ映像・センサー情報・AI技術を組み合わせることで、輸送中のリアルタイムな荷物の状態を監視し、荷崩れの早期検知を目指しています。



物流企業様へのメリット



評判・信頼の向上



コスト削減・配送遅延の防止



スムーズな運行

荷主企業様へのメリット



製品破損の低減



顧客満足度向上



ブランドイメージ向上



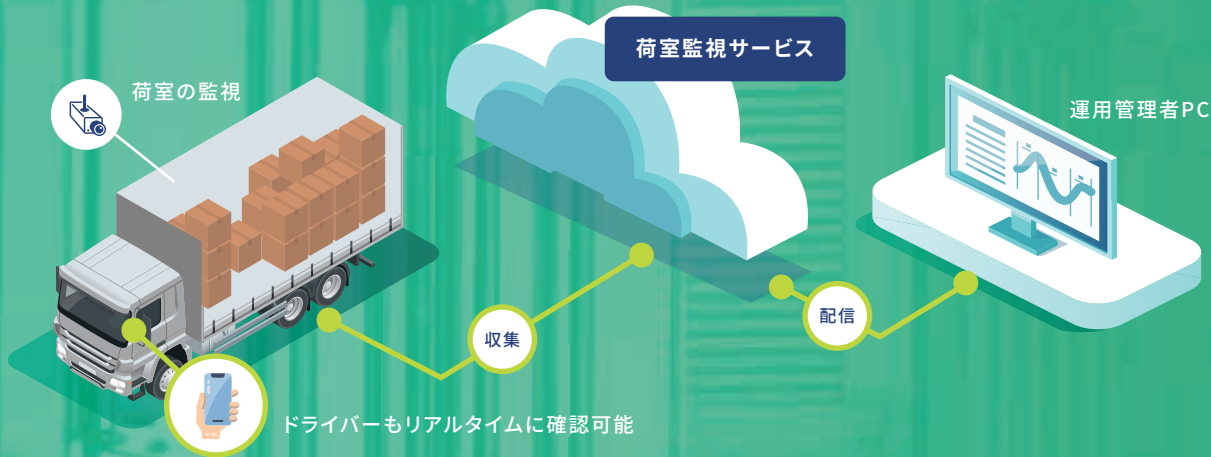
サプライチェーンの
安定稼働



荷室のリアルタイム監視で 輸送品質確保・業務効率向上を実現

荷室内に設置したIoT機器(カメラ+エッジデバイス)で荷室を監視。

荷室の情報はインターネットを経由して、ドライバーの携帯端末や運用管理者PCからリアルタイムに確認可能。



荷崩れの検知



荷崩れの発生や予兆をリアルタイムに検知し、その時点での荷物の様子や各種センサーデータを記録することで、早期復旧や事故証明に活用。

荷崩れの未然防止



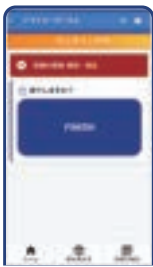
蓄積したデータで荷崩れリスクを先読み、ヒートマップで状況をリアルタイムに見える化。

最適な荷積みのサポート



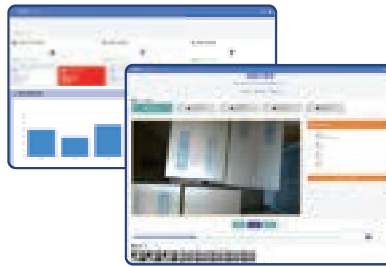
AI分析で最適な積載をガイドし、荷崩れリスクを低減。3Dモデル化で死角ゼロのチェックを実現し、積載品質を最大化。

ドライバー



携帯端末からも見やすい、わかりやすくシンプルなレイアウト。

運用管理者



トラックごとの状況などを集約した情報をまとめて表示。遠隔地から荷室内の情報をリアルタイムに確認可能。

品質管理者



荷崩れが発生した位置情報や、各種センサーで収集した情報を品質向上に活用。

実用化に向けての研究段階にあり、業界の最前線でご活躍されている皆様から、「本当に現場で求められる機能は何か」「導入のメリット・課題はどこにあるか」といった、生の声を広く収集したいと考えております。ぜひ、貴社の具体的な課題やご要望をお聞かせください。

